

平成 28 年 12 月 22 日

各 位

会 社 名 セガサミーホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長兼 CEO 兼 COO
里 見 治
(コード番号 6460 東証第一部)
問 合 せ 先 執行役員財務経理本部長
大 脇 洋 一
(電話番号 03-6215-9955)

韓国釜山広域市における複合施設開発中止および特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 12 月 22 日開催の取締役会において、韓国釜山広域市における複合施設開発の中止を決定し、特別損失を計上する見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 開発中止の理由

当社は、IR（統合型リゾート）事業を成長事業と位置付け、IR 事業への本格的な参入に必要な施設開発・運営のノウハウを蓄積するため、平成 24 年には日本有数のリゾート施設「フェニックス・シーガイア・リゾート」を運営するフェニックスリゾート株式会社の子会社化ならびに韓国・Paradise Group との協業による韓国・仁川国際空港国際業務地域における IR 施設（以下、Paradise City）の開発に着手し、また、平成 25 年には、さらなる施設開発・運営のノウハウの蓄積を目的として、韓国・釜山広域市における複合施設開発のプロジェクト（以下、本プロジェクト）への参入を決定いたしました。

一方で、当社は平成 26 年 5 月よりグループ構造改革に着手し、既存事業のみならず先行投資を進めていた事業分野も含めた全事業の位置づけを抜本的に見直し、全事業を「成長」、「安定収益・維持」、「撤退・縮小」に分類した上で、「利益率の改善」および「資本効率の向上」を目指しております。

それらグループ構造改革の検討を進めた結果、成長分野と位置付ける IR 事業である Paradise City に経営資源を集中し、より一層投資効率を向上させる事を目的に、本プロジェクトから撤退することを決定いたしました。当社は、平成 25 年 6 月に、釜山広域市において土地を取得しておりますが、開発中止の決定に伴い、取得済みの土地の返還に向けた協議を韓国釜山広域市に申し入れていたしました。

なお、Paradise City については、引き続き平成 29 年 4 月の開業に向けて開発を進め、IR 事業への本格参入に向けた準備を継続してまいります。

2. 韓国釜山広域市センタムシティにおける複合施設開発計画の概要(平成 25 年 1 月 4 日公表内容)

事業者名	SEGA SAMMY BUSAN INC.
事業予定地	韓国釜山広域市海雲台区佑洞 1502 番地
事業概要	ホテル、エンタテインメント、商業施設等からなる複合施設の開発・運営
敷地面積	9,911.20 m ²
延床面積	148,879.34 m ²
投資金額	約 3,915 億 KRW (土地取得金額：約 1,193 億 KRW、建物投資想定金額：約 2,722 億 KRW)

3. 今後の見通し

本プロジェクト中止の決定に伴い、平成 29 年 3 月期において、減損損失等、約 34 億円の特別損失を計上する見込みです。なお、本件については平成 28 年 11 月 2 日公表の平成 29 年 3 月期連結業績予想には織り込んでおりません。業績予想の修正の必要がある場合は、速やかに開示いたします。

(参考) 当期連結業績予想 (平成 28 年 11 月 2 日公表分) 及び前期連結実績 (単位: 百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期業績予想 (平成 29 年 3 月期)	373,000	28,000	27,000	30,000
前期実績 (平成 28 年 3 月期)	347,981	17,617	16,409	5,369

※本資料内に記載した業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上